

# 下地調整用プレミックスモルタル

# イビモル G

ポルトランドセメントと厳選した硬質骨材を基材とした、プレミックスモルタルとして、優れた性能を発揮します。

## 特 長

- ☆内外部を問わず、広範囲な下地材としてご使用頂けます。
- ☆最適な骨材配合であり、イビフレックスの混入によるポリマーセメントモルタルとして、耐久性に優れ、長期にわたり高い接着力を保ちます。
- ☆工場で製造管理されたプレミックスモルタルですので、安定した品質が確保されており、現場での混練り作業も容易なため、作業効率向上に貢献できます。

## 標 準 仕 様

荷姿	適応部位	適応下地	適応仕上	標準仕様	塗厚	標準塗面積
25kg/袋	内壁・外壁 内床・外床	コンクリート ブロック	仕上塗材 床補修	清水 5ℓ + イビフレックス 又は ロイヤルW21 2ℓ	2~5mm	約8.5㎡ (2mm厚)

- 床面で使用する場合、露出仕上げは避けて下さい。
- 上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意下さい。

## 性 能

試験項目	試験結果	
軟度変化 (%)	3.8	
耐ひび割れ性	ひび割れなし	
耐衝撃性	ひび割れ・はがれなし	
曲げ強さ (N/mm <sup>2</sup> )	5.7	
圧縮強さ (N/mm <sup>2</sup> )	17.0	
付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	標準養生	1.7
	低温養生	1.6
吸水量 (g)	0.8	
透水量 (ml/h)	0.3	
仕上材が陶磁器質タイルの場合の 耐久性 (N/mm <sup>2</sup> )	付着力	1.4

※上記試験結果は J I S 規格に準じた試験方法による測定値であり、保証値ではありません。

# 施工方法【コンクリート・ブロック面】

## ① 下地の点検・清掃

- ① 下地を健全な状態にして下さい。  
脆弱層、レイトンス、油分、剥離剤、汚れ等、モルタルの付着に阻害するものは除去して下さい。

## ② 下地の処理

- ① 清掃後、イビフレックスの3倍希釈液を刷毛等で均一に塗布し、乾燥させて下さい。  
※床面は4倍希釈液を塗布

## ③ 混練り

- ① イビモルG(25kg/1袋) に対して清水5ℓとロイヤルW21又はイビハイボンドを2ℓ 混入し、ハンドミキサー等で十分に攪拌して下さい。  
※練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。

## ④ 塗り付け

- ① コテ圧を十分にかけしごき塗りを行い、追っかけにて所定の塗り厚に塗りつけて下さい。
- ② 仕上げの種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等を行って下さい。
- ③ 全面塗りの場合は、1回の塗り厚は2mmまでとして下さい。それ以上の塗り厚の場合は、2回以上に分けて1日以上養生期間をおいて下さい。

## ⑤ 養生

- ① 通風や直射日光を避け、必要に応じてシートを掛け等の養生を行って下さい。
- ② 乾燥の激しい場合には、塗り付け翌日に散水養生を行って下さい。
- ③ 次工程までの工程間隔は、夏季7日以上、冬季14日以上を基準として下さい。

## ⚠ 使用上の注意

1. 気温が5℃以下の時には使用しないで下さい。  
(気象条件(気温・湿度・日照・風速)に留意して下さい。)
2. 混練りに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
3. モルタルは加水後1時間以内に使い切ってください。
4. 粉袋の保管は室内の湿気の少ない場所に保管して下さい。
5. 開封後は使い切るか、残りは空気・湿気を遮断して下さい。
6. 指定材料以外の材料の混入は避けて下さい。
7. 使用後の器具は速やかに水で洗浄して下さい。
8. 製品は製造年月日を確認し、6ヶ月以内に使用して下さい。

記載内容は資料・情報・データに基づいて作成したものであり、実際の現場において結果を保証するものではありません。また、使用に際して適切な使用方法と安全対策に注意の上、お取り扱い下さい。内容は、断り無く変更する場合がありますので、ご了承下さい。

2016.1